● 社会基盤整備

- 立地適正化計画(現況 鶴岡市・村山市・中山町で作成) ハザードマップ上の危険な住宅を安全な場所へ 新たな造成地への移転、または安全な空き地・空家の利活用 (山形県住まい・まちづくり公社の活用)
- 空港整備

感染症対策方法の検討 出張機会の減少・ピークの平準化

○ 鉄道整備

感染症対策方法の検討 出張機会の減少・ピークの平準化

○ 道路整備

災害緊急時対応の拡充 地震・津波・地すべり・土石流・洪水・噴火など 道の駅の役割 観光用・災害支援用

O ICT 環境整備

感染症対策を受けて、数カ月で進化 ICT 機器の操作慣れによる交流の進化 大学生・社会人とのコラボ 他大学・高校生との協働講義 海外との交流学習

担当:高澤・佐藤

「都市・地域計画演習」 高校生との合同発表会に向けて

課題 「未来の小野川温泉を考える」

: 図やスケッチ、模型等を用いて「未来の小野川温泉」に関わる提案をお願いします。 提案内容のほか、提案が達成されるまでのステップ、達成時期(数ヶ月後~100 年後など) 実施規模・関わる人数・費用・実施後の効果予測などを明記してください。 ゴール

人 数 :個人または数名のグループ。

へ 数 : 個人または数名のツルーフ。 提出物 : パワーポイントまたは PDF ファイルによるブレゼンテーションを作成してください。 中間発表: 前半は高校生の発表。発表に関して大学生や教員からコメントを行います。

後半は大学生の中間発表を行います。高校生からコメントを伺います。 時間は5分程度で zoom の共有機能を使って発表してください。

最終発表:時間は5分から10分程度でzoomの共有機能を使って発表してください。 発表に関して小野川温泉の方、大学生や教員からコメントを行います

○趣旨

※表示市にある小野川温泉は、836 年に小野小町が前に倒れた際に偶然発見されたとの言い伝えがあります。全国でも秘陽として知られ、肌に良い泉質としての知名度も高い温泉地です。全国的な傾向として団体客の利用が減少し、利用者数の減少は小野川温泉でも近年続いてきましたが、新型コロナ感染症が対策のための体薬等により、収益が大幅に減少し、飯しい経営をしなければならない状況にあります。今回は、そのような危機を抱える温泉地をどのような形で元気を取り戻すことができるのか、持続可能な地域がくりの視点に立ったハード、ソフト両面からのアイデアを考えます。
○ 想定される方法

・ 部たな地域の温泉での三窓を避ける集客方法の提案

・ 新なは鬼デザインの星案

・ 野がる温泉デザインの星案

・ 東地への交通アクセス方法についての提案

・ 温泉地への交通アクセス方法についての理案

・ 温泉地のグライメージを変えらロゴや言葉の提案

・ 温泉地のイメージを変えらロゴや言葉の提案

・ 温泉地のイメージを変えらロゴや言葉の提案

・ 温泉地をPRする SNS の利活用・ボスター・マップ等の提案

・ 出張型温泉サービスの提案

- 出張型温泉サービスの提案

 災害(豪雨 	j・豪雪・地震・火山等)	に強い温泉地の提案
〇日程		
7月中旬	課題説明	夏休み課題として米沢興譲館生徒に依頼
7月20日	山形大学学生	課題趣旨説明 ※ 7月28日に記録をアップ
10:30-	神奈川大学学生	ビデオ記録 https://www.youtube.com/watch?v=A22IrkvMc4s
	考察	e-mail 等での質問・回答 ssato@e.yamagata-u.ac.jp
8月5日	zoom meeting	エスキス(アイデアの添削)を実施
13:00-16:10		Zoom ミーティング
		https://zoom.us/j/91130168546?pwd=blY1dVlLQ2VXTDV2aE1vNUhJU2lNQT09
		ミーティング ID: 911 3016 8546 パスコード: 827967
8月中旬	考察	e-mail 等での質問・回答 ssato@e.yamagata-u.ac.jp
8月21日	zoom meeting	米沢興譲館高校生代表者5グループ(個人)からの提案
13:45-16:00		大学生代表者から中間発表
		Zoom ミーティング
		https://zoom.us/j/95988927785?pwd=WEIKeGFsamp6MUxSVmZsSVJzMXdGdz09
		ミーティング ID: 959 8892 7785 パスコード: 803801
8月下旬	高校生からの感想	振返りで感想・気づいたこと・疑問なことを記入
9月8日	zoom meeting	大学生による最終発表会 ※高校生アイデア紹介・フィードバック
13:00-16:10		Zoom ミーティング
		https://zoom.us/j/96034585422?pwd=RkFYYncyYVp6WEw5Q2hsdWRueVdWdz09
		ミーティング ID: 960 3458 5422 パスコード: 744344
9月下旬~	学科 HP 発表	内容を確認した上で実施

○本演習では、下記の SDG's に準拠する形で実施します。













Bridge Project

■ Bridge Project における今後の新たな取り組み(案)

Shinya Sato

新型コロナウイルスの影響による学校の休校が続きますが、今後、学校が再開された後のことを想定して、 Bridge Project をどのようにデザインしていくかを話し合えればと思います。今後の新たな取り組みとして 「Nature Yoga」、「Design Based Learning」、「Resilience for disaster」の3つの柱を考えました。これ らはSDG'sの取り組みに繋がってきます。是非、ご意見をお聴かせください。











